

2021年7月12日

調査室

今週の株式相場見通し

* 日経平均 27,000~28,400円 TOPIX 1,850~1,940

* 期待材料 東証プライム市場新設に向けた還元拡充 補正予算 国内のワクチン接種の進展

* 不安材料 米中の経済鈍化懸念 国内外の新型コロナ拡大 各国の量的金融緩和策縮小 五輪開催

米国のISM製造業、非製造業景況感指数及び、中国の国家統計局による製造業、非製造業景況感指数が前月比で減少に転じており、コロナ禍からの世界経済回復をけん引してきた米中経済の鈍化が懸念されている。また、中国政府が海外市場に上場する中国企業への規制やIT企業に対する監督強化を打ち出しており、米中分断を一段と強めることで世界経済の波乱要因になり得るとして、リスク視され始めた。さらに、国内外の新型コロナの感染再拡大も大きな懸念材料である。ワクチン接種の遅れるアジア各国に加えて、ワクチン接種で先行した英国、イスラエルなどでもデルタ株を中心に新規感染者が拡大している。日本においても新規感染者は再拡大しており、オリンピック・パラリンピックの開催を控えた東京都に4度目となる緊急事態宣言が発令されることとなった。米中経済の減速懸念に加えて、新型コロナの感染拡大に伴う経済活動の制限措置によって、世界の景気敏感株に位置付けられる日本株全般の上値が重くなっているものと思われる。期待材料としては日本企業に広がる株主還元の拡充、ガバナンス強化、構造改革への取り組みをあげたい。新設される東証プライム市場への上場に向けて、資本関係の見直しや株主還元の拡充を打ち出す企業が増加している。親子上場や株式の持ち合い解消は、事業の選択と集中の加速を求める「もの言う株主」の存在感を高めることにつながり、日本企業の課題である低資本効率の改善や競争力の強化に寄与することが期待される。実際、経営戦略に沿った上場子会社の完全子会社化と、非戦略的事業に位置付けた子会社の売却を進めた日立製作所は、株式市場で評価を高めており、株価は20年ぶりの高値を更新している。世界経済の減速への懸念に加えて、決算発表シーズンを控えていることもあり、全般的には引き続き上値の重い展開が想定され、構造改革の加速や株主還元を強化する企業を中心とした、選別投資が必要な局面と思われる。(7月9日現在 多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
7/12 (月)	5月機械受注(8:50) コスモス薬品(3349)本決算	[トルコ]5月失業率(16:00) [印]5月鉱工業生産(21:00)
13(火)	日米豪印科学技術担当相オンライン会合 エヌ・ピー・シー(6255)3Q決算 松屋(8237)1Q決算	[中]6月貿易収支 [米]6月消費者物価指数(21:30) 国際エネルギー機関(IEA)月報
14(水)	コメダHD(3543)1Q決算 サイゼリヤ(7581)3Q決算	[トルコ]中銀政策金利(20:00) [米]6月生産者物価指数(21:30)
15(木)	日銀金融政策決定会合(~16日) パソナGP(2168)本決算 ドトール・日レスHD(3087)1Q決算 ファーストリテイリング(9983)3Q決算	[中]4-6月期GDP(11:00) [中]6月鉱工業生産(11:00) [中]6月小売売上高(11:00) [米]6月鉱工業生産(22:15)
16(金)	黒田東彦日銀総裁会見 日銀 経済・物価情勢の展望	[欧]6月の新車販売 [米]6月小売売上高(21:30)
17(土)	認知神経科学会(~18日)	[仏]第74回カンヌ国際映画祭授賞式
18(日)	兵庫県知事選投開票	[チリ]大統領、上院、下院予備選挙

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 **アークランド (9842)** 東証1部



	20年02月期 (百万円)		21年02月期 (百万円)		22年02月期(予) (百万円)		株価(7/8)	1,456 円
		前年比		前年比		前年比	業種	小売業
売上収益	109,483	2.5%	178,477	63.0%	365,000	-	時価総額	603 億円
営業利益	9,575	-3.3%	16,018	67.3%	20,500	-	PER(予想)	3.40 倍
経常利益	10,394	-2.4%	16,956	63.1%	19,500	-	PBR(実績)	0.71 倍
当期純利益	4,846	-14.8%	8,725	80.0%	17,200	-	ROE(実績)	11.26 %
EPS(円)	119.5		215.13		258.89		配当利回り(予想)	2.06 %
配当金(円)	30		35		30		担当	志田 憲太郎

*21年2月期合計の配当金の内訳は、普通配当30円00銭 記念配当5円00銭

出所:業績に関する数値は決算短信より

新潟県を中心に主に日本海側地域に大型ホームセンターのホームセンタームサシ、スーパーセンタームサシを展開。2020年に1,085億円でビバホームを展開するLIXIL ビバを買収した。ビバホームは東京を中心に主に太平洋側に展開しており、業界売上規模11位の当社が6位のLIXILホームを買収し業界5位の売上となった。また、連結子会社に東証1部上場でカツ丼専門店「かつや」や持ち帰り専門店「からあげ縁(ゆかり)」などを運営する外食チェーン・アークランドサービスがある。アークランドサービスが運営する「かつや」はコロナ禍でも売上を落とすことなく、むしろ伸ばしており、持ち帰り専門店もコロナ禍で中食需要が増加したことで外食事業の22年1Q決算は前期比21.4%増収、6.2%営業増益と業績を伸ばしている。

今期は決算期の変更、ビバホームの連結化によりアークランドサカモト分は12ヵ月+8日の決算、ビバホーム分は14ヵ月の決算となるため通期の対前期比は開示してないが、前期の巣ごもり需要や買いだめ特需の反動減はあるものの、既存店売上高の進捗は22年2月期1Q対象期間とコロナ前である2019年度比較で、アークランドサカモトが11.3%増、ビバホームが0.4%増となっている。また、20年2月期のアークランドサカモトの売上高経常利益率は11.8%に対しビバホームは4.9%となっており、傘下となったことでビバホームの利益率改善が期待され、在庫管理などのシナジー効果も出てくれば、全体の利益率の向上が期待できる。6月21日の1Q決算発表では、通期見通しを上方修正した。買収したビバホーム所有の店舗および土地を売却した特別利益の計上で、売上や営業利益の見通し変更はなかった。子会社のアークランドサービスの時価総額が21年7月8日終値換算で733億円、55%を出資する親会社のアークランドサカモトの時価総額は603億円となっており、55%の持ち分だけで403億円ある点も注目に値するのではないかとと思われる。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(7/8)	コメント
ディップ (2379) 東証1部 3,370円	求人サイト「バイトルドットコム」や「はたらこねっと」などを運営。22年2月期1Q(3-5月)決算は前期比0.6%増収、33.8%営業減益、37.6%最終減益(21年2月期3Qより連結決算へ移行しており前期比較は非開示の為、参考値)。また通期と上期予想をレンジで開示しており、上期最終利益予想の予想上限に対する進捗は59%となり、予想下限は1Q時点で超えた。同業他社に比べて受注回復が早く、また経済正常化へ向けて積極的な投資を行っており、DX事業が大きく伸びて黒字化したことで、通期計画の上振れが期待される。(志田 憲太郎)
テンポスHD (2751) 東証 JASDAQ 2,135円	国内最大の中古厨房機器販売が主力。見込み顧客の管理、声掛けの徹底に注力したことで厨房機器販売のテンポスバスターズは過去最高の売上、営業利益を達成した。一方で、コロナ禍で、飲食事業が大きく落ち込み、21年4月通期決算は前期比7.4%減収、42.9%営業減益、79.2%最終減益。他社の買収も含め6年間で現在60店舗のテンポスバスターズを120店舗にする計画など物販事業の成長が魅力。経済再開に伴い飲食事業も回復すると思われ、今期中の上方修正も期待される。(志田 憲太郎)
スター・マイカHD (2975) 東証1部 1,155円	中古リノベーションマンションの販売が好調に推移し、21年10月期2Q累計決算は前年同期比26.0%増収、36.1%営業増益。新築マンション価格が高騰するなか、中古マンション市場は品薄感が強まるほど活況となり、中古リノベーションマンションは販売戸数、利益率ともに期初計画を上回って推移。中古マンションの市況に下がる気配はなく、販売用の在庫が不足しているため、下期は中古マンションの仕入れを強化する方針。(松本 直志)
クスリのアオキHD (3549) 東証1部 7,180円	21年5月期決算は、下期からの新型コロナ特需の反動減や人件費を中心とした販売管理費の増加によって前年同期比1.9%増収、1.6%営業増益に留まった。今期については収益認識に関する会計基準の変更要因を除くと14.4%増収、上期を中心とした新型コロナ特需の反動減、販促費の増加及び店舗の大型化に伴う不動産費の増加を見込み1.9%営業減益を計画。中期的には店舗の大型化を進めると共に、生鮮売り場の強化、調剤併設店舗を増加させ、成長を図る方針。(多功 毅)
インスペック (6656) 東証2部 2,143円	新型コロナにより受注活動が停滞し、21年4月期通期決算は前年同期比32.3%減収、赤字転落となったが、年度後半から中国向けなどで商談が活発化。生産性の高さやサポート力が評価され、主力のフレキシブルプリント基板(FPC)検査装置を複数台受注したことで、今期は前年同期比80.6%増収、黒字転換計画。デジタル社会の進展に伴いスマホやウェアラブル機器向けにFPCの需要増が見込まれ、検査装置の売上回復が期待される。(松本 直志)
東亜DKK (6848) 東証1部 813円	21年3月期決算は国内民需がコロナ禍で低調に推移。一方、官公需が堅調に推移したことや中国、韓国向け市場の早期回復、さらに半導体製造工程に用いられる超純水装置向けが好調な台湾がけん引し、前年比2.2%減収、1.0%営業増益と、ほぼ前年並みの業績となった。今期は研究開発費、減価償却費の増加を見込むが、国内外の設備投資回復を見込み4.4%増収、8.0%営業増益を計画。環境規制が強化される中国で、VOC(揮発性有機化合物)測定装置の認定作業中。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室